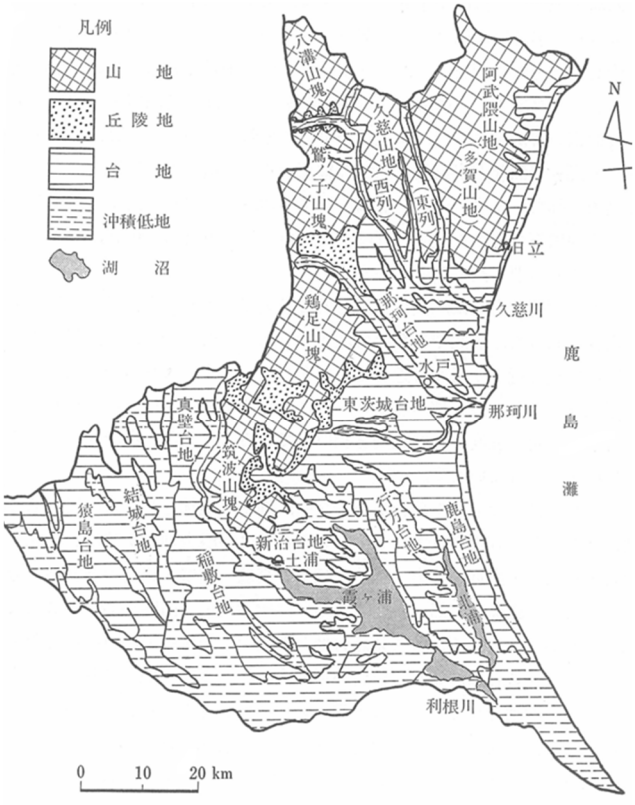
八千代町の地勢と気象



八千代町は、茨城県西部の県西地域に位置する。北は結城市に、東は下妻市に、南は坂東市と常総市に、西は古河市に接している。町の東部(下妻市との境)を鬼怒川が、町の南西部(坂東市との境)を飯沼川が流れている。鬼怒川は、栃木県日光市と群馬県片品村の県境にある鬼怒沼を水源とする一級河川(国管理)で、守谷市で利根川と合流する。飯沼川は、千葉県野田市で利根川と合流する。

地形は、鬼怒川沿いが沖積低地で、町の大半は台地(猿島台地)である。

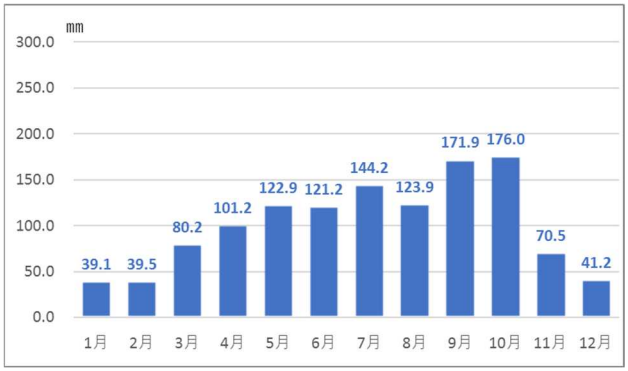


茨城県の地形区分(出典:茨城県 地学のガイド;1977, コロナ社)

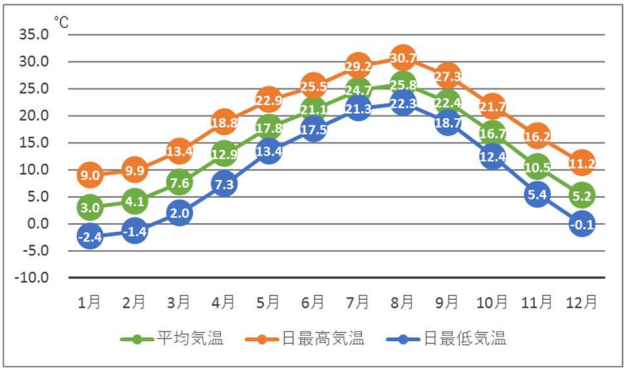
気候は、太平洋側気候で内陸気候の特徴を併せ持つ。夏季は、太平洋高気圧から吹き出す南よりの風の影響で高温多湿となり雨も降りやすい。冬季は、乾いた北西の季節風が吹き、晴天の日が多く、降雪は少ない。内陸部では、気温変化が大きく乾燥しやすい。また、放射冷却が強く働きやすい。

降水は、冬は少なく、春から夏にかけては梅雨前線の影響などで徐々に多くなり、秋は秋雨前線や台風の影響などで更に多くなる。年降水量の平年値(下妻)は1231.8㎜である。

気温は、夏に 35° C 以上の猛暑、冬に −10° C 以下となることもあるが、平年の気温(下妻)は、夏季の日最高気温が 30.7℃、冬季の日最低気温が −2.4℃で、年平均気温は 14.3℃である。



下妻の降水(月ごとの平年値) 1991 年~2020 年の統計値



下妻の気温(月ごとの平年値) 1991 年~2020 年の統計値

下妻の平年値・極値はこちらから

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=40&block_no=0322&year=&month=&day=&view=